



新年明けましておめでとうございます。
本年も、院内感染対策の推進・抗菌薬適正使用にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



1月に注意すべき感染症について～特にインフルエンザ、新型コロナ～

済生会中津医療センターの皆様、新年あけましておめでとうございます。
今年も感染管理室およびICT&ASTが推進していく感染対策について、ご協力の程よろしくお願いします。

1月に入りましたが、12月に引き続いてインフルエンザと新型コロナウイルス感染症について取り上げさせていただきます。

まずはインフルエンザです。図1は2018年以降のインフルエンザの定点当たり報告数の全国平均値の週別の推移を示していますが、2024年第51週の値は42.66(大阪府は45.75)と2018年/2019年シーズンの流行のピーク以来の高値を示しています。すなわち**5年ぶりに訪れた大きな流行**であり、新型コロナ流行の影響で抑制されていたインフルエンザの流行規模がコロナ以前に戻りつつあるといった印象です。1月に入ってインフルエンザの流行が更に拡大していくのか、あるいは学校、幼稚園、保育施設等の冬期休暇を経て流行規模は小さくなるのかについては、注意深く見守っていく必要があります。

この5年間、インフルエンザの患者発生数は少なく、これほどの本格的な流行を経験していなかった影響なのか、若手の医師を中心に特に抗インフルエンザウイルス薬の処方のミスが時折見受けられます。また、やはり若手の医療関係者を中心に、インフルエンザの罹患者が続出しつつあります。**流行はまだしばらくは継続していきますので、気を引き締めて治療や感染対策に当てる必要があります。**

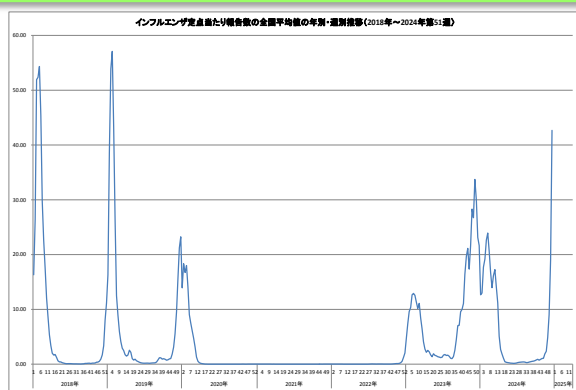


図1. インフルエンザ定点当たり報告数の全国平均値年別・週別推移 (2018年第1週～2024年第51週)

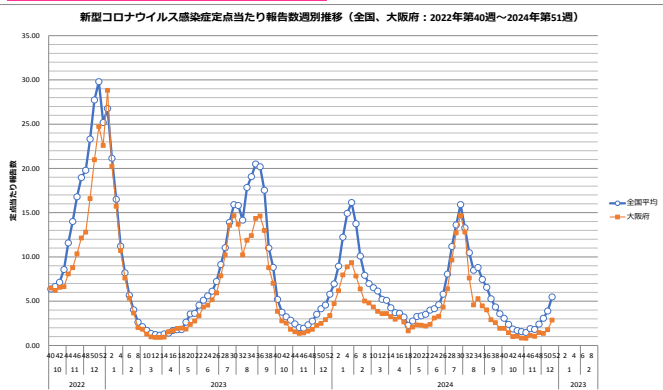


図2. 新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数の週別推移 (全国、大阪府：2022年第40週～2024年第51週)

次に、**新型コロナウイルス感染症**についてです。図2.にある通り、定点当たり報告数は第45週(11月第1週)を最少値として、以降は増加傾向が続いています。大阪府の定点当たり報告数は2023年第18週(5月の第1週)を最後に、以降は全国平均値を下回った状態が続いています。第51週の大阪府の定点当たり報告数は**2.87**であり、2023年の第51週の報告数(2.92)とほぼ変わりありません。これまでの冬季の流行を参考にするならば、**新型コロナウイルス感染症の患者報告数は、全国、大阪府共にこの後も増加が継続し、1月から2月にかけてピークを迎えていくと予想されます。**今冬の流行の規模はまだわかりませんが、**新たに出現した変異株であるXECの感染例が増加してきていますので、1月は要注意だと思われる。**

(感染管理室 安井 良則)

厚生労働省HP: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00432.htmlからデータをダウンロードして解析

感染管理認定看護師が新たに2名加わりました!!



この度、日本看護協会 認定看護師 認定審査に2名合格し、**感染管理認定看護師(CNIC: Certified Nurse in Infection Control)**が5名になりました。

感染対策においては、私たち感染管理認定看護師が中心となり、各部署と連携を行っています。現場での感染対策でわからないことや不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。
(感染管理室 永田 夏子)



- 【動画視聴のお願い】
- ★第1回感染対策研修会
「インバウンドと感染症 大阪万博に備えて」
 - ★第2回感染対策研修会
「未来に使える抗菌薬を残そう! AMR(薬剤耐性)対策クイズ8」

感染管理認定看護師になりました北13病棟の三ツ橋です。先輩CNICのような感染管理ができるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

この度新しく感染管理認定看護師になりました山本です。普段はCCUで勤務しています。まだまだ未熟者ではありますが、今後は患者さんやご家族、職員の皆さん、病院内のすべての人を感染から守るため、根拠に基づいた感染防止対策を実践できるような活動をしていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。